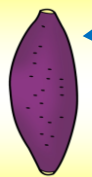


じ ぼ さんぶつ 地場産物だより ~ さつまいも ~

メイドイン みやこ プロジェクト

2016年10月 NO.3 みやこ町学校給食小委員会



メイドインみやこプロジェクト

このプロジェクトは、みやこ町内で作られたおいしい野菜をみなさんに食べてもらおうとする取組です。

◎今年（ことし）は収穫前（しゅうかくまえ）のさつまいもを

イノシシに食べられてしまい、大変（たいへん）でした。さつまいもは、さつまいもに適（てき）した畑（はたけ）（通気性（つうきせい）がよく水（みず）はけのよい土（つち））だとあまり手（て）をかけなくても丈夫（じょうぶ）に育（そだ）ちます。しかし、一番（いちばん）の敵（てき）がイノシシです。さつまいもがイノシシに食べられるまえ（まえ）のこ（こ）に残（し）りの収穫（しゅうかく）を急（いそ）ぎます。

あき かん しゅん あじ 秋を感じる旬の味

「さつまいも」は甘み（あま）が強（つよ）く、甘薯（かんしょ）や唐芋（からいも）ともいわれています。食物繊維（しょくもつせんい）、ビタミンC（おお ぶん）を多く含（ふく）んでいます。

10月（がつ）に給食用（きゅうしょくよう）の「さつまいも」を届（とど）けていた生産者（せいさんしゃ）の有馬（ありま）さん・持永（もちなが）さんにお話（わ）をうかがってきました。



日本（にほん）でさつまいもの花（はな）をみること（こと）は、きわめて難（むずか）しいそうです。みることができたら、とてもラッキー（ラッキー）です。

生産者（せいさんしゃ） 勝山（かつやま） 宮原（みやばる）
有馬（ありま） 操（みさお） さん

生産者（せいさんしゃ） 勝山（かつやま） 宮原（みやばる）
持永（もちなが） 文子（ふみこ） さん

夏場（なつば）の草取り（くさとり）は暑さ（あつ）との勝負（しょうぶ）です。

苗（なえ）が土（つち）に根付（ねづ）くまでは、除草作業（じょそうさぎょう）が欠か（か）せません。雑草（ざっそう）にさつまいもの栄養（えいよう）をとられてしま（ま）うと、大き（おお）く育（そだ）たないから（から）です。今年（ことし）は暑（あつ）い日（ひ）が続（つづ）いたので、特（とく）に汗（あせ）を流（なが）しました。



しゅうかく ようす 収穫の様子

6月（がつ）に苗（なえ）を植（う）え、10月（がつ）中（ちゅう）旬（じゅん）に収穫（しゅうかく）します。

③道具（どうぐ）を使（つか）って掘（ほ）り出（だ）します。

①葉（は）をかりとります。

②マルチ（ビニール）をはずします。



葉柄（ようへい）（葉（は）の下の茎（した）のよう（よう）に見える（み）るところ）も食べ（た）られます。